

独禁法に基づく適正取引研修会

小島官房 審判官 法改正のポイント解説

県建設業協会

県建設業協会(川畑俊彦会長)は23日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで「独占禁止法に基づく適正取引に関する研修会」を開き、協会員や関連団体等から約170人が出席した。公正取引委員会事務局の小島愛之助官房審判官が来鹿し、改正独占禁止法や企業コンプライアンスなどについて解説した。



講話に聞き入る出席者
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

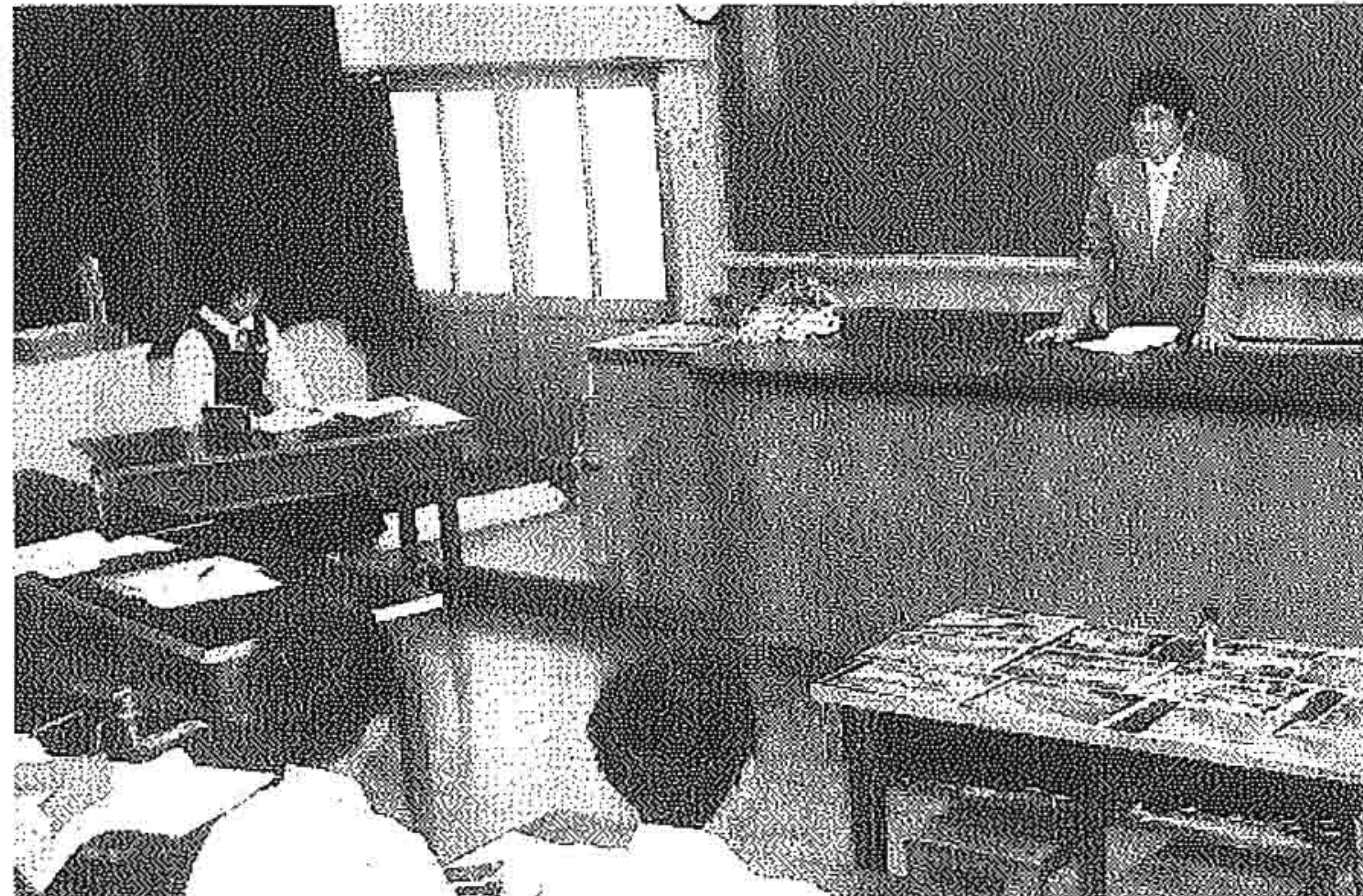
冒頭、川畑会長が「建設業は社会資本整備を担う重要な産業であり、災害時には人命救助など大きな社会貢献をしている。中小建設業の健全な発展が何より重要であり、頻発するダンピングの排除が大きな課題だ。本日は貴重な講話を最後まで聞き、適正な競争について勉強していただきたい」と挨拶。

次いで、自民党独禁法調査会長の保岡興治衆議院議員が「独占禁止法に関する最近の動きについて」と題して講演。「社会資本

職業人に学ぶ講演会

菱刈 職業の難しさ学ぶ

菱刈町立菱刈中学校(外後則校長)は20日、同校1年生を対象に「職業人に学ぶ」講演会を開き、理・美容師や保育士



生徒らに語りかける諏訪社長＝菱刈町の菱刈中学校で

官が「独占禁止法の運用状況と企業のコンプライアンス」について講義した。今回の独禁法改正の主要なポイントである、①課徴金制度の見直し②課徴金減免制度の導入③犯罪調査権限の導入等④意見交換もあった。

審判手続きの見直しなどについて施行状況等を説明した。

このあと、公正取引委員会事務局の相馬哲夫九州事務所長が業務概要等を述べたほか、活発な意見交換もあった。

歴史しのび20km完歩

明興テクノス、妙円寺参り

(株)明興テクノス(山ノ内文治社長)は21日、鹿児島市の三行寺の「妙円寺参り」に参加した。

秋晴れの下、スタート地点となった鹿児島市のライオンズ公園には、社員やその家族ら約230人が集合。ラジオ体操で体をほぐした後、そぞろの法被を身にまとった一行は、奉納ののぼりを手に、日置市伊集院町の徳重神社を目指して出発した。



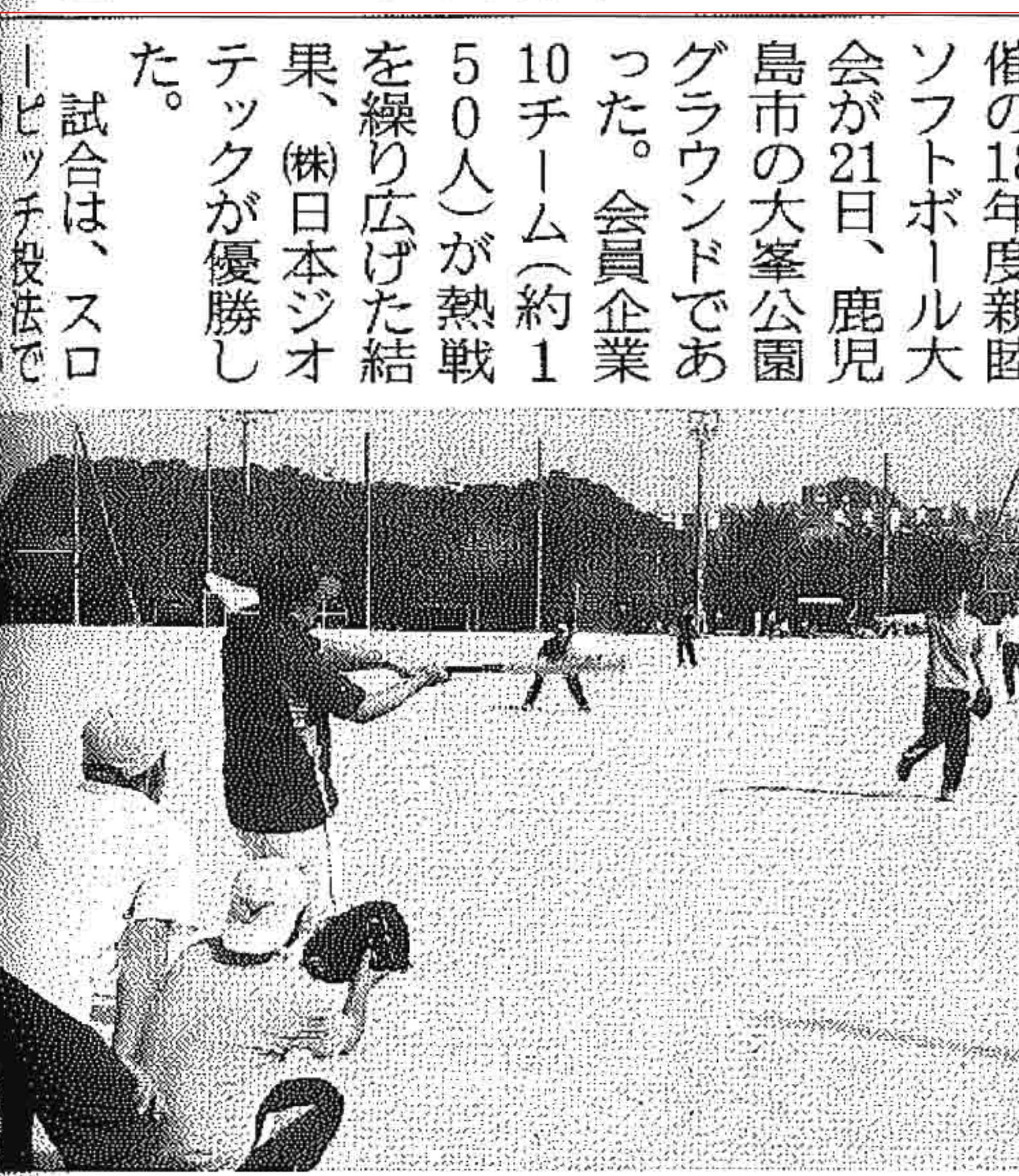
のぼりやプラカードを手に歩を進める参加者＝鹿児島市の西田橋徳重神社に到着すると、参加者全員が境内で参拝した。同社が参加を始めたのは、鹿児島県に本社を移転した昭和38年。以後、毎年秋の恒例行事として、社員にもすっかり浸透しつつある。山ノ内社長は「体力づくりのためにも絶好の機会。歴史もののびながら、楽しく歩いてほしい」と話した。

妙円寺参りは、関ヶ原の戦いにおける島津義弘公の敵中突破に由来し、毎年さまざまな奉納行事等が行われている。

日本ジオテックがV

県地質調査業協会等ソフトボール大会

県地質調査業協会(宇都忠良理事長)と県地質調査業協同組合(同)共催の18年度親睦ソフトボール大会が21日、鹿児島市の大塚公園グラウンドであった。会員企業10チーム(約150人)が熱戦を繰り広げた結果、(株)日本ジオテックが優勝した。

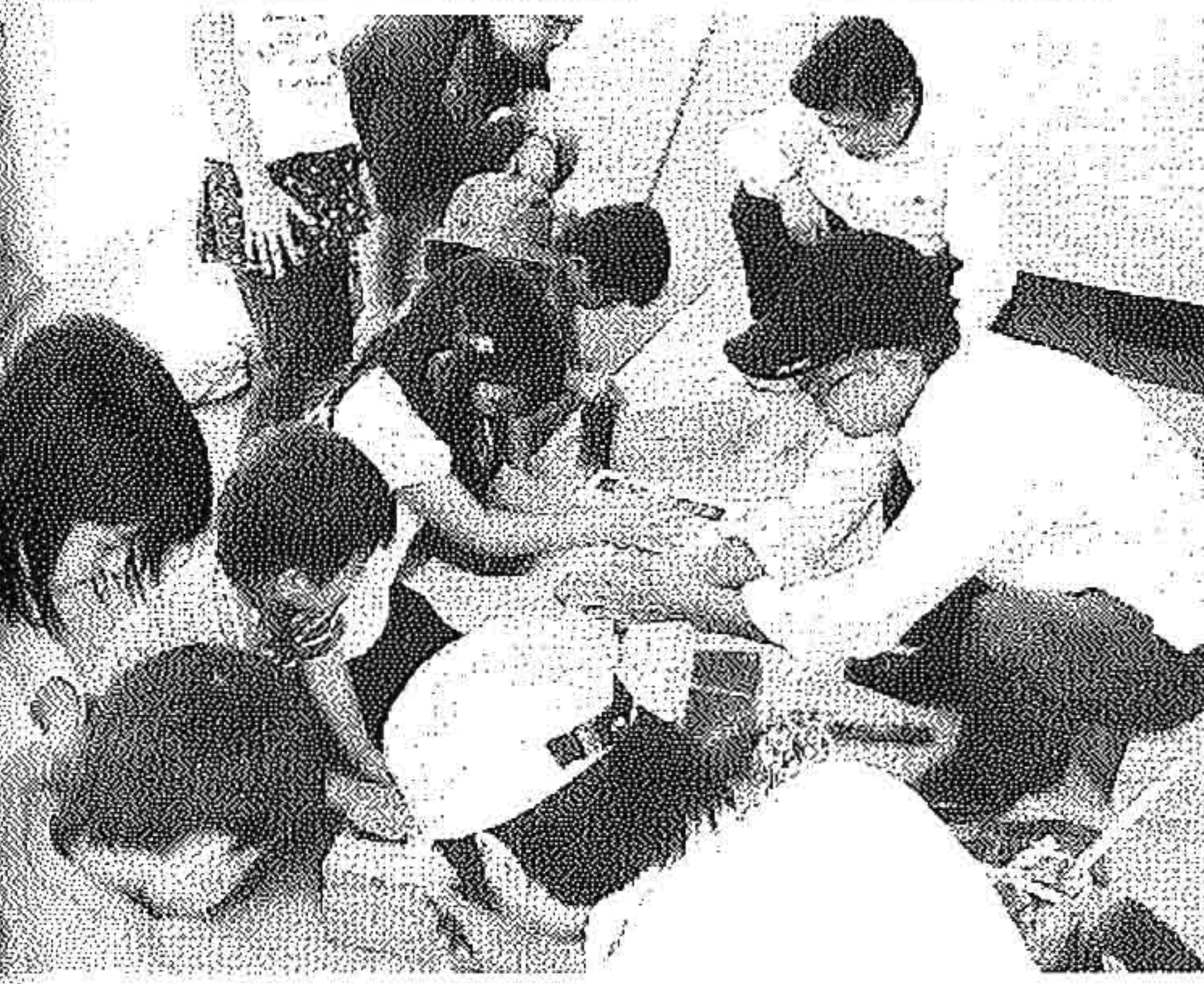


試合は、スロースタートで進められた。各パートとも大飛球に大きな歓声が沸き上がったほか、好プレーには敵味方関係なく拍手が送られた。

親子で触れ合う

ウッディフェスタ21

「第7回かごしま木材まつりウッディフェスタ21」が21、22の両日、鹿児島市のMBCグラウンドであった。会場には、多くの家族連れが訪れ、県産材関連のさまざまなイベントを楽しんだ。



竹トンボ作りに挑戦する子供たち＝鹿児島市のMBCグラウンドで

は、県内で生産された木材や製品を展示し、県産材や木の良さ・森林の大切さを広くPRしようとする毎年開いているもので、今年で7回目。今回は、第22回MBCふるさと秋まつりとの同時開催で、多くの人が来場した。

会場では、親子木工教室、丸太切り競争、花の苗木配布、もちまき、お楽しみ抽選会などの各種イベントを実施。また、展示即売コーナーでは木材・木製品、集成材、フローリング、エクステリア、屋久杉工芸品、土木資材、竹製品、貴、かわらなど、さまざまな品物を見られ、実際に品物を見てその良さを確認する姿が見

中央トピックス

河川景観づくりを支援

国土交通省

国土交通省は、川づくりにかかわるすべての人々に向けて「河川景観の形成と保全の考え方」(美しい河川景観を形成・保全するための総合的なガイドライン)を策定し、19日公表した。河川の調査・設計から整備、維持管理まで、あらゆる段階での河川景観づくりの視点、手順、活用すべき手法をまとめたほか、既存の良好な事例なども盛り込んだ。河川管理者だけではなく、流域住民や利用者、市民団、専門家などにも、ホームページを通じて広く公開し、今後の川づくりの参考にしてもらいたい考え。

自然公園制度見直し検討

環境省

環境省は、自然公園制度の見直しに向けた検討に乗り出す。有識者で構成する「国立・国定公園の指定および管理運営に関する検討会」の初会合を31日に開き、国立・国定公園の役割、管理運営にかかわる各主体の役割分担の在り方などを議論。19年3月までに基本的な方向性を固める。

国立・国定公園を含む自然公園制度は、旧国立公園法の制定以来75年が経過しており、自然の質に対する価値観や社会情勢の変化を踏まえた見直しの必要性が生じている。

25件の選奨土木遺産を決定

土木学会

土木学会(浜田政則会長)は、18年度の土木学会選奨土木遺産を決定した。世界初の海底トンネルである「関門トンネル<在来線用>」(北九州市、下関市・昭和17年竣工)、日本一長い手掘り隧道の「中山隧道」(新潟県山古志村・昭和8~24年竣工)など25件で、12年度の創設から今回を含め114件となった。学会では、認定した土木遺産の管理者に対して青銅製の銘板を贈る。

12月、耐震診断等で講習会

建防協

日本建築防災協会(岡田恒男理事長)は、「既存RC造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会」を12月18日、19日の2日間、東京都千代田区の砂防会館で開く。耐震診断、耐震改修にかかわる最新技術などを官民の専門家が解説。定員300人。

受講料は一般2万1000円(後援団体会員など1万9000円、テキスト『2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説』別売り)。問い合わせは、事務局RC講習会係(☎03・5512・6451)まで。

公共事業コスト構造改革の実施状況

国土交通省がまとめた「公共事業コスト構造改革」の実施状況によると、17年度は基準年(14年度)に比べ、9.9%、金額で3915億円の

国交省

事業コストを削減した(関係公団など含む)。今後、19年度までに15%のコスト削減を目指すことにしている。

17年度

9.9%の3915億円削減

公共事業のコスト削減は、15年3月に策定した「国土交通省公共工事コスト構造改革プログラム」などに基き実施中。毎年度、施策実施状況と数値目標についてフォローアップし、15年度からの5年間で15%の総合コスト削減を達成することになっている。

17年度は新技術活用促進、地域の実情に適合した規格への見直し、リソースの活用を推進し、主要コスト削減の取り組みとして、▽港湾区域内の堆積土砂を有効利用した「皆生海岸富益養浜工事」(削減率約11%、削減額1400万円)などを挙げている。

事業便益の早期発現・4%、将来の維持管理費の削減0.6%、間接的な効果マイナス0.5%となった。主なコスト削減の取り組み事例としては、▽港湾区域内の堆積土砂を有効利用した「皆生海岸富益養浜工事」(削減率約11%、削減額1400万円)などを挙げている。

見直し、橋梁規格を縮小した「大分387号上野地1号橋上部工事」(47.8%、3億8330万円)▽高支持力杭の採用でコストを削減した「防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称)建築工事」(55%、8700万円)▽グラウチング技術指針を改訂することで、計画の合理化を図った「滝沢ダム本体建設工事」(31%、9200万円)などを挙げている。

また、コスト削減の結果、最も高いコスト削減率を示した事務所は、境港湾・空港整備事務所(33.3%)だった。施工方法の見直し、作業船の大型化による施工能力向上などに取り組み、事業効果の早期発現を実現した。

地すべり対策工事に一般公募型プロポーザル方式と設計施工一括方式を採用した、紀の川ダム統合管理事務所(30.8%、建設発生土の有効利用に努めた金沢河川国道事務所(29.8%)がこれに続いている。

VE方式は、計画・設計内容と同等以上の機能や品質を確保しつつ、工事費の削減を可能にする改善提案をいう。一般的に公共建築工事におけるVEには、実施する段階により設計VE、入札時VE、契約後VEがある。

も花に触れられる道をみるなどつくる。

VE方式は、計画・設計内容と同等以上の機能や品質を確保しつつ、工事費の削減を可能にする改善提案をいう。一般的に公共建築工事におけるVEには、実施する段階により設計VE、入札時VE、契約後VEがある。

県道路公社「1億台通行達成記念式典」

県道路公社は、昭和63年3月29日に開通以来、1億台の通行台数に達する見通しとなった指宿有料道路(Ⅱ期)の通行達成を記念して23日、鹿児島市の山田料金所ゲート内で、1億台目と前後1台目の通行車両に通行認定状を贈呈する「1億台達成記念式典」を開く。

通行認定状を贈呈

23日、山田インターで

指宿有料道路は、指宿市大迫(池田湖)から額娃町上別府(額娃IC)まで、Ⅱ期道路として建設道と連結している。

これにより、鹿児島市の外郭環状道路を形成し、市街地の交通混雑・渋滞の緩和を図るとともに、鹿児島および南薩地域の産業・経済などの発展に寄与し、このたび1億台の通行達成することとなった。

土の舗装体感プロジェクト

きょう、加治木町で

鹿児島県道等

九州地方整備局鹿児島国道事務所、道守がこしま会議主催の「土の舗装

体感プロジェクト」がきょう21日午前9時から、加治木町の国道10号加治木バイパス花壇で行われる。同プロジェクトは「歩きやすい、歩いて楽しい道」を子供と一緒に考え、体感する試み。①道を学ぶ②道を調べるを終え、今回、いよいよ③道を作るに取り組み。

当日は、同バイパス内の加治木小学校で管理している花壇で、一輪車で花壇の管理用具や苗などを運んだり、車いすの人

体感プロジェクト」がきょう21日午前9時から、加治木町の国道10号加治木バイパス花壇で行われる。同プロジェクトは「歩きやすい、歩いて楽しい道」を子供と一緒に考え、体感する試み。①道を学ぶ②道を調べるを終え、今回、いよいよ③道を作るに取り組み。

当日は、同バイパス内の加治木小学校で管理している花壇で、一輪車で花壇の管理用具や苗などを運んだり、車いすの人

県水道設計業協会

来月17日、実務研修会

県水道設計業協会(四元久会長)は11月17日午後1時30分から、鹿児島市の県市町村自治会館で水道実務研修会を開く。受講申し込みは11月4日まで。問い合わせは、同協会(☎099・225・0281 FAX225・0277)まで。



腸閉塞を起こせば緊急手術が必要

私の健康手帳

第76回 腸閉塞ヘルニア

腸閉塞を起す危険が

腸閉塞(そけい)部(もの付け根)が膨れて違和感があるけれど、痛みもないし、特に気にならないからと、腸閉塞ヘルニアを放置していませんか? 場合によっては腸閉塞を起こすことがあり、緊急手術が必要で

腸閉塞ヘルニアには腸管部の腫れ物が少しづつ大きくなったり、あるべき場所から逸脱した腸が引っ張られることによって痛みが出たり、時に胃が痛くなったりするなどの症状があります。

基本的には良性的疾患ながら、まれに腸閉塞を起こすことがあり、その場合にはとにかく急いで手術をしなければ、大変危険です。

腸閉塞ヘルニアは個々人でタイプが違い、腫れ物(腸管)が大きいから悪くなるというわけではなく、小さい腫れ物でも腸壁の一部が強く締め付けられることによって、吐き気や発熱を伴い、腸閉塞を起こすことがあり、腫れ物などの自覚症状がないにもかかわらず、腸閉塞ヘルニアが原因となっていることもあるのです。

腫れ物(腸管)が大きいのは、臓器がはみ出る出口が広く開いているということもあり、さほど締め付けられないために痛みも少なく、もとにもどりのやすいのです。そのため、ソフトボール大になっても、病院に行かないという人もいます。ですが、早めに治療しておいた方がよいのは、どの病気でも同じことです。痛みがある人は早急に治療し、大きくても痛みがない場合でも、時間を見つけて積極的に治療したいものです。(次回に続く)

監修 こしのクリニック

院長 越野保人先生